第３回　　輸血　　検査研究班 班会議議事録

１　日　時　：　R3 年　2 月 25 日　　20 時　00 分 ～　21 時　00 分
２　場　所　：　埼玉県臨床検査技師会　事務所
３　出席者　：　久保居由紀子　宮澤翔子　小原佑太　岸健太
　　渡邉一儀（リモート参加）

４　欠席者　：

５　議事内容（用紙不足の場合は欄右上にＮｏを記入し追加使用下さい）
Ｎｏ　１

1）5 月の研修会について
講演 1：埼玉県・埼玉県医師会精度管理事業報告（令和元年度・二年度）
昨年行えなかった為、2 年分まとめて行う。（宮川氏）
講演 2：どうして日当直の輸血業務は不安？
当直者などのアンケートを入れて行う。（久保居氏）

・一人 30 分講演（講師料は発生せず、日当で支払う）
一人 30 分講演だと講師料が発生しないため、今後は時間等を考慮する。

・開催場所をどうするか？
パソコンやネット環境のある埼玉県臨床検査技師会事務所に決定。

2）6 月 7 日の生涯教育プログラム申請について（3/28 締切）
・予定では 6 月は開催しない。7 月の内容をどうするか。
適合血の選択に必要なことや考え方についての講演を血液センターの神戸氏か学術の方へ交渉中していただく（久保居氏）。ダメだった場合の為、班員で何か案を考えておく。

・9 月に腎移植を予定しているが、講師を誰に依頼するか？
渡邉氏より獨協の Dr. へ交渉していただく。1 時間程度で移植やそれに関わる輸血や検査についての講演。ダメな場合は HLA や抗体価など行っている埼玉医大や防衛医大が候補に挙がった。

3) 実技研修について（10 月）

・予定では AM・PM 入れ替え制（15 名×2 回）

内容は基礎的なもので AM･PM 同じ内容で行う。

そろそろ、研修会内容についてのたたき台を作り始めたい。

研修会担当者を決めて、その人を中心に計画を練ってもらいたい。

担当者は以下の 3 名に決定した。

会計担当：宮澤氏　内容案担当：小原氏　サポート：渡邉氏

・施設費について（東武医学技術専門学校）

施設費が取られる。日曜日は Dr. の出勤が必要なのでプラスで費用がかかる。

その件も考慮して、参加費を決定する。

4) 4 月から新メンバー

埼玉県立がんセンターの比嘉絢子氏が新メンバーとして加わる。

5 月の研修会が初顔合わせとなる。

5)第 1 回 Web 研修会を終えて

講師の先生を交えて、本日の反省と今後に向けてのご意見を伺った。

意見として次のような内容があがった。

・演者が操作に慣れていないと、サポートする人が必要ではないか

・講演後の質問コーナーで参加者が多くなると、挙手をしている人を探すのが大変であるので、一人専属で担当者をおき PC も準備した方がいいのではないか

次回研究班会議予定：　未定

提出日　R3 年　3 月 3 日

文責：岸　健太